

## 令和3年第1回（定例）高砂市教育委員会 会議録

### 日時

令和3年1月21日午後6時00分

### 場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

### 出席者

衣笠教育長、山名委員、布施委員、吉田委員、神尾委員

### 出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、北野教育推進室教育総務課長、中野教育推進室生涯学習課長、高橋学校教育室学務課、矢野学校教育室学校教育課長、横山学校教育室学校教育課主幹、藤原未来戦略推進室青少年センター所長

### 本日の会議に付した事件

#### 協議事項

- 1 学校給食費の公会計化について

#### 報告事項

- 1 悩み相談シートについて
- 2 高砂市子ども読書活動推進計画第2期（素案）への意見募集結果と今後のスケジュールについて
- 3 高砂市教育委員会事業後援について

#### その他

- 1 2月行事予定について
- 2 公表等と学校への周知について

議 事 協議事項 1 学校給食費の公会計化について

- 事務局 (協議事項 1 について説明)
- 教育長 何か御質問、御意見がございましたらお願いします。
- 委員 このシステムについて、今までは学校の先生が給食費を集めて、それを会計に渡すという作業だったと思うのですが、今回のシステムは自動で振り込まれるというシステムですか。
- 事務局 現在、給食費の徴収は、私会計で給食会という団体が学校の口座を通じて引き落としをしております。今後、公会計になりますと市の歳入に入ってくるようになります。市の税金などの 1 つのような形で給食費を徴収しますので、口座引き落としというのは基本的には従来通り変わらないのですが、市が引き落としをしていくというようなシステムをつくっていかうと考えています。
- 委員 具体的にどういう部分の作業が軽減されるのですか。
- 事務局 現在、各学校で学校給食費の引き落としをする口座申込みや各金融機関に依頼をかけて引き落としをしてもらう事務をしていただいています。それを学校の先生でなく市役所のほうがするようになります。
- 委員 学校の中で児童生徒に対して学校の先生が給食に関しての連絡事項を何もしなくて済むということですか。
- 事務局 いえ、給食費の引き落としや督促関係は市が行いますので、その業務は軽減されます。ですが、給食を食べている子供たちが欠席をしているとか、学校でしか把握ができないもの、数量とかアレルギーの対応というものは、やはり今までどおり続くような形になります。
- 委員 給食費は一切全部無料ですか。
- 教育長 無償化は、幼児教育の部分で、小中学校の給食費は違います。
- 委員 例えば、この度、コロナで保育園、幼稚園、こども園を閉めたときに、日割り計算で色々計算をしなければならないとかありますよね。そういうのも今後導入していくような流れはあるのですか。
- 事務局 現在、給食費を支払ってもらっているのですが、生活保護世帯とか就学援助費の方は給食費が減免になっています。今回コロナの関係で学校が休業になって給食がない場合は返金という形を取っています。
- 委員 学校がコロナで休みになったら返金対応の全部を行政がする、市がするということでもいいわけですね。就学前の幼稚園、保育園に関しても、流れとしては行政が担当していく流れですか。
- 教育長 公会計化によって幼児教育の部分、保育園、こども園、そこまで発展していくかということですか。
- 委員 はい。そうです。

- 事務局 現在、学校給食費は小学校と中学校だけなので、これはその分だけになります。
- 教育長 この導入予定については、令和3年度、4年度で準備をしまして、5年度の4月から公会計への移行という手順で準備を進めてください。

---

議 事 報告事項1 悩み相談シートについて

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 何か御質問はございますか。
- 委員 令和元年に比べて、小学校、中学校ともに減少した理由についてどのような解釈をされているのか。その他の学校へ行きたくないなどの分というのはどういうことを言っているのか。その辺りの聞き取りやピックアップができていますのかどうか、教えてください。
- 事務局 いじめが減っているということで、未然防止が図られているという見方もできますが、いじめの積極的な認知ができていないことや見過ごしも懸念される場所ではございます。その他の悩み事具体例等につきましては、学校に行きたくないという理由が、ゲームをしていたとか、進路の悩みであったりなど、特に人間関係で休みたいという相談ではないとお聞きしております。
- 委員 令和2年と令和元年というのは、やはりコロナの影響が、大きな違いがあると思う。影響があったのかどうかということも含めて教えていただけませんか。
- 事務局 小学校ですと、1学期が例年の傾向でしたら一番いじめ認知件数が多く、2学期、3学期は減っていくという傾向でした。これがコロナの影響かどうかは、分かりませんが、3月、4月、5月と緊急事態宣言による臨時休業等で1学期よりも2学期の件数が多いというような結果につながっていると感じております。
- 中学校に関しましては、1学期よりも2学期の行事が多く、例年でしたら、体育大会や文化祭等でトラブルが発生する件数が増えてくる傾向ではあるのですが、本年度に関しましては行事の中止や縮小というようなことで、行事が行なわれなかった、件数が上がってきていないというのは、分からない部分もありますが、中学校は2学期のほうが多く起こっているという現状です。
- 委員 イベントがなくなった影響というのは、中学校ではいじめが多少たりともあるかもしれないというのが、みんなが集まっている間に何か起こることは十分に考えられるので、注目すべきところだったかもしれませんね。
- 委員 悩み相談シートの質問項目は、以前はこの項目以外にも何かありませんでしたか。
- 事務局 いえ、項目としては、名前も、いじめ相談シートから悩み相談シートということで、極力アンケート中にいじめという言葉を設定せず小学校につきましては教育相談を行なってもらっています。中学校に関しましては、全生徒を対象に教育相談をして、何か変わったことがあるか悩みを聞いていることではありますが、それ

以外につきましては、記述ということで、書いてもらうというような仕組みにしております。

○委員 自由記述等の記述式に関しての集計あるいは調査というのはここに出てきていないように思うのですけれども、その部分の結果はどんな項目があったのか。統計はありますか。

○事務局 統計としては出していないのですけれども、具体例といたしましては、兄弟関係や家庭のことについて、家族の人間性が嫌い、プレッシャーを与えられる、学習面については、勉強が難しい、進路の悩み、身内の不幸話を聞いてもらいたい、席替えの頻度、マスクを付けていない人について、悪口を言われているような気がする、授業中にうるさい人がいて注意してもらいたい、隣の席の男子の独り言がうるさい、女子のきつい口調が気になる、掃除をサボることについて、部活の指導方法について、友達がけんかしたときにどうしていいかわからない、太陽の光が反射してまぶしい、給食が苦手、量が少ない、食べる前におなかが痛くなる、臭いが嫌、字が上手に書けないといった、そういう具体的なことの記述がございました。

○委員 本当に訴えられない些細なサインがあるのを見逃してしまうようなことがあると大変なので、全部複数の人間が読んで見逃さないようなチェックをされているのかどうか。書き方の中にわずかな訴えを見逃さないような複数の人での対応をしなくてはならない。全国的にも1人の人が見た感じでは駄目ですという指摘があったのですが、その様に対応をされていますか。

○事務局 先生方には、学年会などを用いて複数教員で開封し、内容を確認するとしております。認知漏れや隠ぺいの防止、または1人で抱え込まず組織的にいじめの解消へつなげられるように指導はさせてもらっております。

○委員 フォローアップ状況というのが大事だと思うのですけれども、何かそういう記録等は残っているのでしょうか。

○事務局 いじめに関しては記録票というものを指導に当たっての個々に1件ずつ出してもらっております。

○委員 それについてのフォローです。こういうのがありました、この項目についてはどういったフォローをして実施しました、済みました、やっていません、まだフォロー中ですかという記録はあるのですか。

○事務局 3か月何も起こらず、本人の心においても負担がないというケースにおきましては解消していると判断する形になっており約3か月後に学校のほうに聞き取りに1校ずつ回り確認を取らせていただいております。

○委員 解決済みなのか継続中なのか、またはフォロー中なのかというのがそこで分かるような仕組みなのですか。

○事務局 はい。そういう仕組みにさせてもらっています。

○委員 2点お願いします。1つは、コロナの関係で学校行事がほとんどできなくて、そのことが結構ストレスになって、勉強ばかりで学校に行きたくないという子供が何人かいるのですけれども、先ほど学校行事がなくて、逆にいじめとかトラブルが減ったという面もあるかもしれませんが、そういう大事な学校行事が縮小されて、それが嫌になって登校しぶりとか、そういうことはこのアンケートからはうかがえるようなことはなかったのですか。

もう1つは、小学校にも中学校にも同じ項目で一定の解消は図られたが、継続支援中、指導中というのが何件かあります。まだ指導中の内容は、主なものはどんなものがあるか、その2点について教えてください。

○事務局 登校しぶり等に関しましては、昨年の12月同期と本年度の12月末で見させてもらいますと、小学校におきましては、本来なら30日以上休めば長期欠席者として扱われるのですが、12月現在県等から20日で見なさいと言われていています。小学校のは昨年度38人であったものが、本年度は40人というような結果でございました。中学校におきましては、昨年度は131人でしたが、本年度は113人というような結果で、問題行動に関しましては例年どおりの件数が上がってきております。非常に夏休みも短く、2学期が長い状態で、12月はおっしゃられるように登校しぶりが増えたというような小学校からの声もお聞きしておりましたが、そういった中でも子供たち、先生方もそうなのでしょうけれども、頑張られて、何とか例年の状態を維持しているというような状況が見られます。

2点目の件に関しましては、どうしても発達障害を持たれているという子供さんから、指導はしているのだけれども、また同じように起こしてしまうのではないかというような不安から、支援中というようなことで継続支援になっているというようなことが多くございます。

○委員 全部赤信号、黄色信号だと思って、多分先生方はよく見てくださっていると思うのですけれども、何か変わってくれという合図だと思って見ていただければと思います。上手に説明がまだできない年代ですので、そのところを丁寧をお願いします。それと、前々から何回か申し上げているのですけれども、いじめというくりではなくて、これは中学校を卒業したら犯罪ですよということが幾つも入っています。もうこれはいじめじゃなくて犯罪ですよというようなことも何かの形で子供たちに教えていかなくてはいけないのではないかと。もちろん小学生でもそうです。いじめという、そんなものではないということが分かってもらえるような方法を何か考えていただければと思います。中学生は同じことを来年やったらもう犯罪者だという年齢の子供たちもいます。小さい子と同じように、いじめだと思って悪いことをする場合がありますから、そのところも何か考えていただければと思います。

- 事務局 道徳の授業等を活用しまして、そのような指導、特に14歳を迎える中2の学年ぐ  
らいから、そういう意識を持つように授業等で担任に授業をしていただくような  
形の指導をしていきたいと思います。
- 教育長 もう1つ。子供からのサインとかメッセージなどを受け止めるという点に関して  
はどうか。
- 事務局 おっしゃられるように、子供の感じ方と大人が見る温度差というのは確かにある  
かもしれませんが、その辺りも子供に寄り添って、あるいは同じ目線で物事を  
判断していただくような周知はさせていただきたいと思います。
- 委員 子供の悩みというよりも、いろんなことの訴え、何らかのサインを出しているとき、アンケートの項目以外のことで、さっきあった自由記載のところに、例えば生活が困っていて、自分のしたいことができないとか、食べたいものが食べられないとか、そういうものもやっぱりできたらピックアップしてあげてほしい。見逃さないでほしい。いじめだけではなくて、子供自体が悩んでいるものを一つ一つ深く見つけてあげて、些細なことから、この子の家庭環境まで関わっていきけるようなこともやっぱりしていく必要があると思う。日常生活の中で担任の先生が見ていたらやっぱり分かることもあるだろうし、服を替えてこない、破れたまま  
で着ているとか、色々なことがある。色々なことを書いてくれたら、やっぱり見つけてあげてほしいと思う。十分な配慮があって、一句一句、書いている言葉一つ一つを本当に深読みしていただいて見つけて、対応してほしいと思います。頑張ってくれているとは思いますが、よろしくお願いします。
- 事務局 いじめの把握だけに活用するのではなく、子供と教師との信頼関係を築くという、  
そういった構築するツールとしても活用をぜひ進めていくようにしていきたい  
と思います。
- 委員 コロナ騒ぎで学校が休みだったときに、このアンケートは1学期に1回、これは  
これでいろんな貴重なデータがあると思うのですが、それ以外にできるだけ頻繁  
に子供と会って、生徒と会って、顔を合わせて、色々話を聞くような、例えば中  
学であったら教育相談週間のような形でやっていたと思うのです。そういう頻度  
を増やしてほしいと思います。子供と直接会って短時間でもいいので小学校の先  
生は、1日一緒に暮らすことが多いので、ちょっとした休み時間なんかは声をかけ  
やすいと思います。中学校はほとんど授業に関わりがない先生も当然担任とし  
ていらっしゃるので、声かけをする、話を聞くと、ご飯がない等の話が出てきた  
りします。アンケートではなかなか出てこないのが対面なら出てくる可能性もあ  
ると思うので、そういうことをできたらやっていただきたい。アンケート以外の  
面談等の情報はありますか。
- 事務局 情報といったのは特には聞いていないのですが、コロナ禍でソーシャルデ  
ィスタンスと言われる中で、どちらかというとも距離を置くような感じになってし  
まうような状況が生まれているのかもしれないです。ですが、その辺りを取りな

がらでも対面で対話をするというような状況をつくっていただけるように周知をしていきたいと思えます。

- 教育長 この悩み相談シート以外の取組と申しますか、工夫も必要だというご意見をいただきましたが、いじめ相談シートというのを悩み相談シートとしたことで、子供たちがいじめのことやメッセージを送りやすくなり、また、そのことによって、色々ないじめ以外の、例えば家庭の中でのことであつたり、子供と先生との関係についても書ける子は書いております。そこをしっかりと受け止めて、生かしていただく。たくさんの御意見をいただきました。今の貴重な御意見につきまして、学校のほうに周知をして、よりよい形で進むようにやっていきたいと思っております。

---

議 事 報告事項2 高砂市子ども読書推進計画第2期(素案)への意見募集結果と今後のスケジュールについて

- 事務局 (報告事項2について説明)

○教育長 説明は終わりました。何か御質問はございますか。

○委員 意見を募って、意見をいただきたいということで出したけれども、結局1件も意見が来なかったということですか。広報の仕方に問題がなかったのかなという。色々意見を言ってくださいといったときに、ゼロ件って普通あり得ない。普通だったら、何か書こうかと、気になれば必ず書く、広報の仕方によっては、全くそんなの知りませんでしたということもあり得るのかなと。広報の仕方はしっかりできていたけれども全く意見がなかったのか、それとも広報の仕方に問題があったのか、その辺りはいかがなのでしょう。

○事務局 ゼロ件ということに関しましては、確かにご意見はいただけなかったのですが、市のルールどおりに広報をさせていただいております。もともとの広報の仕方、市全体でのやり方については、今後広報の担当と議論していきたいと思えます。市のルールといたしましては、例えば今回でしたら、読書計画なので、図書館に何らかの広報をする方法がなかったのか、そういったところに関しましては、今後の子ども読書計画については5年間を通して、ほかの市の計画、特に教育委員会の計画をまた作成するようときには、パブリックコメントを市のルール以上に何かこういったところに周知したら意見が集まりやすいのではないかということについては、個々のケース・バイ・ケースで判断と申しますか、考えていくことも必要ではないかと今回の結果を踏まえ考えております。

○委員 そうですね。このままで良しとするのはやはりよくないというか、コメントをもらってこそ、更に大きく推進するものであつて、市民がそれだけ興味がないのか、それとも広報が悪いのか、しっかりと確認をして、やりたいのであれば、やはり

しっかりといろいろなコメントをもらって充実させるというつもりで伺っていかないと駄目ではないかと思えます。

- 教育長 今、意見収集について、パブリックコメントの広報の仕方については、工夫をして欲しいという御意見をいただきましたので、今後、作成の際には、検討をしてください。

---

議 事 報告事項3 高砂市教育委員会事業後援について

- 事務局 (報告事項3について説明)
- 教育長 説明は終わりました。御意見、御質問はございますか。  
無いようですので、これで承認をさせていただきたいと思えます。

---

議 事 その他1 2月行事予定について

- 事務局 (その他1について説明)
- 教育長 説明は終わりました。御意見、御質問はございますか。  
それでは、よろしくお願ひします。

---

議 事 その他2 公表等と学校への周知について

- 事務局 (その他2について説明)
- 教育長 説明は終わりました。これまで、コロナの感染者が発生したときの公表についてですが、ケース・バイ・ケースで対応をしていたものを、文書にして学校にも周知させていただきたいという報告です。もう1つは、もしも感染者が校長の場合、代理が必要な場合もあり、しっかりと周知をして、不手際のないようにきちっと対応をしていくという2つの報告をさせていただきました。何かこの件等について御意見、御質問がありましたらお願いします。
- 委員 公表の仕方は新聞報道のみ載せるのか、学校から保護者への通達、これが公表だと思っただけけれども、そういうのをどうするのか。一般的に、公に公表することと、学校の保護者に対しての公表の仕方に関して、保健所の判断の遅さがある、深夜にならないと連絡できないような状況になってしまっ、1日ロスを起こすような形があったり、今は完全に100%向こうにゆだねているから、連携をきちんとして、速やかに、マスコミへも当然でしようけれども、保護者への連絡、いわゆる公表の仕方というのはどんなことをされるのかというのがここに書いていないのですけれどもいかがですか。
- 事務局 学校からの情報提供というところで、保護者へのお知らせということで書いております。上記のことについてというのは、感染者が児童生徒の場合で、学校の臨

時休業が必要になった場合ということで考えております。委員がおっしゃられたように、その日の夜になって調査が入らない場合は、翌日に調査となってしまうことから休業する必要があるということが当然考えられます。その場合は当該学級の保護者に学校から電話連絡等でお知らせをすることで考えております。

○委員 リアルタイムにいかなかったら、判断が出ないからということで、学校がいい加減なことでは駄目だろうと思いますけど、実際難しいところがありますよね。今言った全員に電話するのも難しい。一斉発信もどのようにされているのかというのも具体的によく分からないですが、やれるのですか。

○教育長 教育委員会事務局と学校が連携してしっかり対応していきたいと思います。

○事務局 追加をお願いします。中学校における部活動の指導指針です。安全指導として、新型コロナウイルス感染症予防ということで付け加えさせていただきました。これは高砂市立園・学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに沿って、その時々感染状況に応じた安全な部活動運営が行えるようにということで、この度新たに掲載したものです。御承認いただければ、これを学校現場のほうへ発出したいと思っております。

○委員 他市では非常事態宣言中はクラブ活動の短縮という形が行われています。高砂市のクラブ活動は1日何時間とか制限をかけているのですか。

○事務局 兵庫県教育委員会も出しております県立高等学校等への部活の方針に沿いまして、平日は2時間、休日は3時間の時間、平日は週最低1日、土日につきまして最低1日休み、これは従来の指導時間、それから休日設定と変わりはありません。これは加古川市、稲美町、播磨町とも話をしまして、県の方針に沿ってこういう形で、練習試合等は一切しないとしております。

○委員 公立は交流試合、練習試合、大会に参加しないけれども、クラブチームでやっているところがありますよね。そちらに対しては指導といっても難しいと思うけれども、今の状況の中では慎んでくださいと教育委員会から発信できるのであればしていただきたい。

○教育長 休憩中に部活中の飲食についても明記したほうがいいのかという御質問がありました。事務局いかがですか。

○事務局 マニュアルには飲食のことは、部活のみならずということで、学校活動の中での飲食を記述しておりますので、それに沿って部活もやっていくということで考えております。また、部活のほうではお茶を飲むとか、その程度でございますので、食べるとかいう場面はないです。

○委員 そのお茶を飲むことが気になっています。マスクを外して休憩時間に輪になって水分補給をしながら、わいわい騒ぐから飛沫感染になって、それが一番部活は感染が特に多いと言われている原因となっていると思います。それについて、制限をかけるコメントがこの中にないと、学校全体でやっていますと言っても、部活

の中でそういうのが徹底されていないから、部活での感染というのが広がると思うのです。

○教育長 事務局は、コロナの感染対応マニュアルがあるので、それを守っていただいているからここには書いていないという説明でしたけれども、それに書いていても、ここにもきちっと載せたほうがいいのではないかという御意見です。

○委員 ええ、そうです。特に部活で今、問題になっているのが、部活内での飲食で感染を引き起こすというのがよく新聞だとかテレビでも言っているので、やはり部活動の指導指針に明記したほうが、学校内の教室で感染がどんどん広がったという話はほとんどないけれども、部活での感染というのはやはりクローズアップされているのが多いので、明記すべきだと思うのですけれどもいかがですか。

○事務局 先ほどいただいた御意見を参考にさせていただき、集まって近距離で会話をしながら食事をするのを避けるという表現については、言葉を整然して掲載します。

○委員 最後に、マスクの種類に関しては、小さい子はいいですけれども、大人は少なくとも不織布のマスクにしないといけないと思います。子供からうつるのはなかなか少なく、教職員からうつるのを防止するためには、教職員は最低限、不織布のマスクをしなければいけないかなと思います。少なくとも学校の中では避けるべきだと思います。

○教育長 マスクの貴重な御意見をいただきました。感染予防についてもさらに周知していきながら予防対策を万全にしていきたいと思います。他に何かありますか。特にないようでしたら、これで終わりたいと思います。

---

令和3年1月21日 午後7時55分 教育長会議の閉会を宣告

---